

2019年のヨーロッパの旅はドイツです

7月12日（金）

鯉田駅までちょうど帰省中の妹に送ってもらい6時55分発の快速列車にて出発。博多駅バスターミナルから直行バスにて福岡空港国際線ターミナルに到着。チェックインを済ませ、荷物をベルリンまで預ける。

例によって、海外旅行保険に加入して出国手続きを済ませる。自動の顔認証システムが設置されていた。余裕を持ったの空港到着なので航空会社のラウンジにてしばらく休息する。

少々遅れて10:30に離陸となる。前回と同様に離陸後広島付近から北上を開始するが今回はそのまま真っ直ぐ北上を続け何と北朝鮮の上空を越えて中国に入ったのには驚いた。その後は例によってバイカル湖を越えて飛行するが今回は雲ばかりでほとんど景色が見えない！

昼食後昼寝をして、映画を2本見てゆっくり時間が過ぎてやっとヘルシンキ空港着、やはり遠い！！空港の拡張工事が続いているヘルシンキ空港は毎回様子が違っている。

ベルリン行きはほぼ定刻に出発、雲が多く景色があまり見られない。約2時間の飛行で予定時刻に到着。荷物の受け取り場所が飛行機を降りた直ぐの部屋にありビックリした。待っている間に海外用携帯電話のeSIMの使用開始を空港のFreeWiFiで試みたが接続できなかった。

空港バス乗り場は離れていたので案内表示を見ながら急いで歩く。バスは頻発で、2.8ユーロにてDBのベルリン中央駅へ約30分で到着した。予定の1時間前に到着したので再度eSIMへの使用開始を試みる。Webサイトに接続する必要があるため少々時間を要したがデザリングでの接続にて無事に開通した。

予約した1本前のICEにゆっくり間に合ったが予約した列車とは異なるICEに乗車なのでチケットがどうなるのか心配だった。若者が多く夏休みの移動なのだろうか？通路まで満員で通勤列車のようだった、立ったまま約1時間15分でLaipzigに着いたが途中で時々雨が降っていた。今年のヨーロッパは天候が不安定な様で天気が心配である。

雨上がりのLaipzig駅では乗り換え時間に少々余裕があり、構内にSL、ディーゼルカー、電気機関車が展示してあるのを見物し、水を購入してChemnitz行きの列車に乗車。この列車は第3セクターのようで、会社名が異なるがDBのWebサイトにてベルリンから通しでチケットが購入できた。この路線はLaipzig駅からChemnitz駅までをDBでは三角形の2辺を走るのだがほぼ直線で結んでいるので所要時間が短いのだ。

ネットで調べた範囲ではChemnitzHbfまで行かないはずなのだが駅の表示ではChemnitzHbf行きとなっていたので検札の際に車掌に確認するとやはりバスに乗り換えとのことだった。1時間2分で予定通りに終点に到着、新しいホームでみんなが進む方向へ付いて行きバスに乗車するが誰もチケットを買わないので私も黙って乗車する。約10分の乗車だったがChemnitzHbfまでのチケットは購入していないのでヒヤヒヤものである。

駅前の様子が私の記憶とはまるで変わって、市内電車との連絡が便利になっていた。徒歩でホテル着、まだ21時半でかすかに明るい人通りがほとんどない。チェックインして荷物を置いて直ぐに夕食へ出るのもよくわからないので駅のキングバーガーへ。ハンバーガーを買ってホテルで夕食とする。寝酒に一杯飲みたかったがキングバーガーにはアルコールは無く、当然コンビニもないので諦めた。駅ではついでに翌日朝のチケットを自販機で購入したが発駅は表示してあるので目的地の駅名を一部入力すると駅名の一覧が表示するので選択、その後に枚数や片道か往復か支払い方法を選択して、カードで支払って終了！簡単だった。

夕食後にシャワーを浴びて直ぐに就寝するが23時、日本時間朝の6時なので丸々24時間の長い長い昼間が終わった。9240歩なり。

7月13日(土)

朝の4時半に目が覚めた。雨は上がっていたが曇天である。暇なので050の電話でのかけ方を試そうと、診療所へ電話をかけるがうまく行かない。何回かやってみたが繋がるものの直ぐに切れてしまうので結局諦めた。

日記を書いて、写真撮影開始なので荷物を整理して6時半過ぎたらチェックアウト、駅へ向かう。朝食をサンドイッチとコーヒーで済ませ、昼食用にもサンドイッチを買い込んで列車に乗り込む。途中で雨が降り出した！ひどくはないが降り続いた。

Annaberg-Buchholz unter Bh にて下車。メールは通じていないようで、メールで予約したタクシーが居なかったので雨宿りを兼ねて街中のバスターミナルへバスにて向かう。ところがバスターミナルは商店街から離れた場所で待合室も無い構造だった。雨の中を歩くのも無理なので再びバスにて駅前に戻り、駅前のスーパーで買い物をし、寒さしのぎをかねてケーキとコーヒーを頼んでスーパーの中の片隅に退避させてもらう。雨のせいもあってか気温が低く、ダウンのベストを羽織っている人も居る。来年からは長袖とパーカーも準備した方が良さそうである。

Jostadt 行きバスまで約2時間近く待たなくてはならなかった！！PCを取り出し日記を書く。スーパーにはトイレがなくどうしたものか思案中。

定刻前にやってきたバスにてJostadtへ向かう。丘陵地帯を走るが丘の上では霧に中を走るが一部では100mほどの視界しかなかった。幸いに雨は止んできて、バス停から徒歩にて携帯のグーグルMapを参考にMuseauBahn(Pressnitztalbahn)に向かうがJostadtの町は思いがけずとんでもない傾斜地にあって急坂を下りて到着した駅は谷底にあった。多くの車が止まっている。

荷物を適当に置いて撮影開始である。やがて汽笛が聞こえて列車が順行で戻ってきた。Jostadt 駅は坂の上にあるようでやってきた列車は雨で線路が濡れているためか頻回に空転を繰り返しながらゆっくりとやってきたが何とマレー式の機関車だった。

機関庫に数台のSLがあったが今日は雨なのでマレー式の機関車をチョイスしたのだろう

か。しかし、機関車の入れ替えの際にいろいろと点検を繰り返し、発車時間が遅れたので機関車の調子は悪そうである。



逆行で下り坂の運行なので窓からの撮影はせずに撮影ポイントを探すためにキョロキョロしながら終点 Steinbach まで乗車。駅での機関車の入れ替えと給水を撮影するが給水中もいろいろと点検をしていてやはり発車が遅れた。



今日の宿泊地 Forellenhof まで戻るがこの駅の手前に北側に牧草地が長く続く場所を確認する。Forellenhof 駅の発車の風景を撮って、Pension のチェックインをするが、ここはレストランが窓口で、寝泊まりする Pension は 100 m ほど離れた建物だった。

鍵をもらって、朝食は Pension、夕食を食べるならレストランでうんぬんの説明を受けて Pension へ行くと、別の男性が待っていて Wifi の使い方、朝食の場所を教えてくれた。荷物を少々片付けて撮影に出る準備を終えると、列車が折り返して来る時間だった。

Forellenhof 駅で逆行の機関車の発車を撮ると急いで Steinbach の方向へ道路を歩く。1 Km 少々歩くと Stolln 駅が見えるカーブまで来たが撮影地にはやはり牧草地の Forellenhof 駅寄りが良さそうなので牧草地の端を歩いて引き返す。



ウロウロして撮影場所を決めて準備をして列車を待つが時々日が刺すように天気が回復して来た。通過列車を撮影し一旦 Pension へ戻るが来た道に戻ると遠いので線路を横切って崖をなんとかよじ登って道路へ出て Pension へ戻った。

列車は 2 時間毎なので一休みをして、Forellenhof の Jostadt 寄りの駅、Schmalzgrube 駅へ向かう。撮影ポイントになるかな？と見当

をつけていた駅で、下りの列車を撮影する。

列車が戻ってくるのに約 1 時間あるが次の撮影地を探して Jostadt 方向へ線路沿いを歩く。

線路横に砂利道の道路が続いていて、しばらく歩いて探すなかなか適当な場所が少なく、行ったり来たりをして線路横の道路の端から撮影することにして列車を待つが幸いに天気はもってくれている。サイクリストと散歩する人たちが時々通ってゆく。

順行の列車の撮影を無事に終わると本日の予定は終了である！Pension へ戻り、シャワーを浴び洗濯を済ませ、夕食を待つが Wifi の接続は極めて悪く、廊下に出てやっと満足に繋がる状況なのでネットで暇つぶしが出来なかった。洗濯と入浴を済ませ、眠いのを我慢して時間を待つが土砂降りの雨が降り出した！

20 時前に雨が小雨になったので傘をさしてレストランへ夕食を食べに行く。先客が数組ある。英語のメニューがありなんとか鱈の料理を注文する。当然ビールを飲んで食事をするがドイツ料理をうたい文句にしているレストランではあるがあまり美味しくはなかった。徒歩圏内に食事場所は無いので明日の夕食もここである！

部屋に戻り、わからないテレビを眺めていると寝てしまった。15625 歩なり。

7 月 14 日（日曜日）



雨の朝、3 時半に目が覚めた。早く寝ているのでそのまま起きて日記を記入し、時間を潰す。ドコモの電波が窓際で通じることを発見したので 1 日間のパケ放題に加入し、ネットをなんとか使えるようにした。

シャワーを浴び、洗面をして 7 時の朝食を待つ。一番列車は 10 時に Jostadt 発なので時間はゆっくりあるので今日の撮影場所をいろいろと考えるが、車はもちろん日曜日にはバス

も無いので行動範囲が限られる。

朝食は 7 時のつもりだったが 7 時 40 分になって準備が出来たので一番にいただく。担当の女性は若くてきれいなのだが言葉がドイツ語しか話せないようで困ったが当然決まった内容の食事だけなので無事終了。幸いに雨は上がっていた。

準備をして 8 時半に出発する。目的地は列車の始発駅 Jostadt 駅として歩き始める。地図によると線路沿いに歩道が整備されているのがわかったので安心である。昨日撮影した Schmalzgrube 駅の先を通り過ぎ、さらに進むと森の中の道となるがきれいに整備されている。小川を挟んで線路が続いているのが確認できる。

約 1 時間でスキー場のリフトをくぐると Schlossel 駅の横に出た。さらに Jostadt 駅へ向かうがなんと急坂、中程までは行ったが逆行の発車風景を撮るだけであり、この道を引き返すのか、と思って諦めて引き返した。

場所を探しながら Schlossel 駅に引き返すが霧雨が降り始めた。駅横の建物の軒先に雨宿りをして列車がやってくるのを待つ。少々時間がありすぎ 1 時間近く待つことになった。

霧雨の中、始発列車の通過を撮影するが折り返して順行で戻ってくる列車まで何と1時間半ほどある。寒いし濡れるし座ることも無いので、近くの開店前のレストランの軒先の椅子へ避難する。待っている間に居眠りをしていた。

11時開店だったが10時40分にお店が開いたのでコーヒーを頼み、ゆっくりさせてもらう。雨が降り続き候補に考えていた牧場の中を歩いて行くのは無理と判断、駅近くでの撮影とした。11時半になり、昼食を注文し、待っている間に11時39分発の列車がやってきたので慌てて発車を撮影。戻ると食事（シュニッツェル）が置いてあったのでゆっくりいただく。雨は霧雨や小雨になったりしながら降り続いていた。会計を済ませ12時11分発の列車の到着を撮影し、乗車する。

雨が続くので歩いての移動を諦めペンション近くで撮影することにして Forellenhof へ戻ることにした。列車の中で切符を買うのに車掌を待っていると、顔見知りになっているためか、レールウェイファンと解るためか切符の購入をいわれなかった。当然同時に乗った乗客には切符の販売をしていた。



Forellenhof 駅で下車、当然発車を撮影してペンションへ戻り一休みする。その後2往復の列車はペンションから徒歩5分ほどの場所にて撮影を行い本日の予定が終了した。最もすでに1万4千歩を超えており、1時間半近くの急ぎ歩きだったことが万歩計で表示されている。

夕食前にシャワーと洗濯を済ませる。夕食でビールを飲むし、時差ぼけもあり直ぐに寝てしまうだろうから荷物も大まかに片付ける。右足趾に血豆が出来ていたのではさみで潰す。

19時半まで眠気と空腹を我慢して夕食へ！ビールとビーフの料理を頼む。ソースがやや濃いめだが満足できるものだった。しかし、一つの皿に冷野菜のピクルスや温野菜のポテトをてんこ盛りで混ぜて載せてくるのはいかななものか？

支払いは宿泊費も含めて済ませたが1泊が朝食付きで30ユーロ弱だったのでビックリ。部屋に戻るとそのまま就寝する。14684歩なり。

7月15日（日）

4時半に起床。さすがに早く目が覚める。日記を書いてネットでニュースを見て洗面を

して時間を潰す。

食堂で音がするので7時前に食堂へ降りてゆく。先客がすでに食事をとっていたので私もいただく。メニューは昨日と全く同様。昨日はパン一個を食べたら一日中胃にもたれていたのパンは食べなかった。

朝食後、一息ついて7時50分発のバスに乗るためにペンション前のバス停に向かった。が！バスが来ない！！時刻表を見ると上の方にsのマークがついている。注意事項を読んで翻訳すると「休校日は運行なし」とのこと！月曜日なので夏休みになっているのだろう。次に運行するバスは9時20分だった。しょうが無いのでバス停の長椅子に座って待つが寒い寒い。吐く息が白いのではと思えるほどである。

30分ほどするとペンションのオーナーが車でやってきて「アンネベルグ？」と尋ねるので「はい」と答えると車に乗れ！のゼスチャー。助かった！車で約15分、彼が英語を話さ無いのでほぼ会話なし。駅まで送ってもらったのでこのようなときのために準備していた扇子をお礼にあげた。

予定の列車に間に合ったので順調にドレスデンへ到着。11時半にはホテルにチェックインを済ませ、部屋に入れたので荷物を置いて午後の予定を再検討し Weisseritztalbahn へ直接行くことにする。

駅で昼食を済ませチケットを購入してSバーンにて Freital-Hainsberg へ向かう。車内で車掌がきたのでチケットを見せると、今度から青色のボックスで改札のチェックをして乗るように言われた。そうでした、日本には無い習慣なので忘れていた！

Weisseritztalbahn の Freital-Hainsberg 駅で待つことしばし、13時22分発にて途中駅 Rabenau まで乗車するがSLは順行である。まずは乗ってきた列車の13時39分の発車を撮影し、折り返しの列車を待つのに近くのカフェに行きコーヒーとケーキを食べて過ごす。



14時49分の逆行の列車の発車を撮影すると次は16時ジャスト発なのでまたまた暇で今度はホームのベンチでしばし昼寝。15時半になって撮影場所は駅手前にある直線区間を正面から捉える予定だったが、ムービーとしては良いが写真としては面白くないなー、と考えて駅の先の方へ行ってみる。10分ほど進んだところに見通しの開けたカーブ区間があったのでここを撮影ポイントにして待つ。

無事に撮影が終了、帰りの列車までは2時間ほどあるのでさすがに待ちくたびれたので

撮影せずに帰ることにする。山の中で携帯の電池の消耗が早く残りが12%になっていた。グーグルでバス停までの道と時刻を確認しながら歩くが線路は谷間、道路は崖の上で時々グーグルの地図を見ながらやっとバス停にたどり着く。

バスは鉄道駅への途中のバス停までしか行か無いことが判明して少々がっかり。道路は丘の上から急坂で下って行く。最寄りのバス停で下車、DBの駅までは800mとのことでグーグルをみながらやっと駅に到着、電池は2%になっていた。

Freital-HainsburgWest 駅でカードでのチケットを購入、無事に列車に乗車して気がついた！青いボックスでの改札チェックを済ませていない。車掌が来なかったので慌てて次の駅で下車、改札チェックをして次の列車に乗車するが待っても待っても車掌が検札に来ない？来るときに車掌がやってきたのはおそらく、通常の検札では無く無賃乗車の取り締まりの検札だったのでは無かろうか、と思った。

ホテルに戻り、携帯の充電をしてその間に夕食に食べたいドイツ料理のすね肉のあるお店を探す。夕食を早く食べてその後でシャワー、洗濯をすることにした。ドイツ料理の店は旧市街地に多く、徒歩15分ぐらいに集中していた。その中の一件に行き豚肉のすね肉をコンガリ焼いて中はジューシーという料理を注文した。

量が多いようで通常量と半分量がメニューにあったが記念にと思い通常量を注文する。さすが量が多いのでビールは小サイズにしてついてきたパンは要らない、として頑張ったが残ってしまった。明るいうちにホテルに戻り洗濯してシャワーを浴びてそのまま裸で就寝。15067歩なり。

7月16日（火曜日）

やはり4時起床。洗濯物は乾いているので昨日と同じものが着られる。これだと着替えが要らない。例によって日記を書いて朝食の時間を待つ。

今朝の予定は10時開園のドレスナー公園にある鉄道見物なのでゆっくりである。ホテルから徒歩24分となっている。荷物をホテルに預けて出かけるつもりである。

7時過ぎて朝食へ、部屋数の多いホテルなのに食事客は少なくゆっくり食べられた。置いてある食材数が欧州系は一般に少ないがソーセージやハムのスライスを全種類いただいたそれにチーズを少々とヨーグルト、スクランブルエッグにオレンジジュースとコーヒーで済ませた。当然パンはなしだがゆっくり食べたので少々食べ過ぎた。

朝食後ホテルの前を少々散歩したり、解らないテレビを眺めたり持参の本を読んだりして9時過ぎにチェックアウトへ。荷物を預かってもらうのに1ユーロ取られた！初めての経験だがちゃんと番号札と引き換えで専用場所があったのでリーズナブルと思われた。

ドレスナー公園までは24分とのことなのでゆっくり歩く。グーグルを頼りに無事に到着するがスマホとグーグル地図は本当にありがたい。それでも早めについたが子供連れの家族たちや身障者の家族たちが多いのに驚いた。

10時に門が開きチケット売り場に並ぶ。システムが解らないのでまずは入場券を購入

すると6ユーロ。若干高いかな？と思って中に入るとディーゼル機関車牽引の子供列車？がある。全員急いで乗っている。ほかに行く通路も無いのでまずは一回りしてみようと乗車して発車を待つ。

一番列車のためか、乗客がまとまるのを待っているか20分過ぎにやっと発車となる。発車をすると直ぐに普通の公園内の人が歩く道路を横切る！何と6ユーロは乗車賃だったのだ。その後数カ所の駅に発着したが大人の乗客が数名ずつ乗り降りをしていた。

最初の駅がこの鉄道の中心のようで留置線や引き込み線があった。一回りするとこの駅に戻ってきたので下車。車庫方向に歩くと職員が居たので蒸気機関車が今日動くのかと尋ねると「いいえ、・・・」とのこと。運行日が決まっているようだが詳細は不明。少なくとも今日は動かない事が解ったので諦めてとりあえず中央駅へ戻ることにする。出口まで歩くが雨は降ってないで曇天で寒い。

市内電車にて中央駅方向へ向かうが暇なのでたまたま乗った電車で終点まで行くことにする。終点は一方通行のループになっていて折り返しが不要になっていた。駅まで引き返し寒さ対策に何か着るものを買おうと思いホテル方面へお店を探しながら歩く。この時期でセールもやっているが冬物はさすがに少なく、H&M でサイズがやや不満だが15.99ユーロのハーフコートを見つけた。

昼食を済ませてホテルに戻り、早速着替えて駅へ向かう。予定の列車に少々時間があるので駅でケーキとコーヒーを食べて時間を過ごす。ドレスデン中央駅構内は地上ホームの部分で工事中であった。その後は予定通りのスケジュールでWernigerodeに17時20分ちょうどに到着したが、途中ほぼ平らな平地地帯からだんだんと丘陵地帯になり、森の丘が増えてきてやがて遠くに山が見えだしてブロッケン山が近づいてくるのが感じられた。

駅からホテルは勝手を知った道（前回と同じホテル）なので直ぐに到着。ホテル前の線路にはSLが止まっている！チェックインを済ませ荷物を置くと直ぐに市街地に向かう。寒いので撮影の時間つぶしでじっと待っているのが持たないと思いもう一枚着るものを買うことにした。

田舎なので何か手に入るかと心配したがなんとかC&Aにて長袖で厚手の長袖のシャツをゲット。部屋に戻り荷物を広げて、明日の出かける準備をして、シャワーを浴び、洗濯を済ませて夕食へホテルのレストランへ行く。地元の人たちも来ているようなので良いかな？

レストランは線路に面しており、列車の往来やSLが見える。また室内には鉄道模型も置いてあり、窓際には線路があって、窓際のテーブルまでは飲みものがSLで運ぶように出来ている。ビールをいっぱい牛肉のチーズのかかった料理を食べて部屋へもどる。

例によって日記を書きテレビをながめ、本を読んで時間を潰すがいつの間にか寝てしまっていた。13465歩なり。

7月17日（水曜日）

曇り空の朝、4時過ぎに起床。寒い！何と窓が開いていた。いつものように日記を書き、準備を済ませ、7時前になりそのまま出かける体勢でレストランへ。先客がいたので遠慮無く食事を開始するがこの先客が何個もパンに具材を挟んでサンドイッチを作っているの
で私も非常食にと思い一個サンドイッチを作らせてもらった。するとその人は食べずに出て行った！食べる暇が無いからから作っていたのだろう。

急いで食べて7時25分発の列車に乗るために出かける。列車は1両のディーゼルカーで地元客用の運行と思われた。駅が開いておらず、チケットが購入できていないので運転手さんに尋ねて、3日間のチケットがほしい旨、なんとか通じて購入できて良かった。

何度も通った路線だが景色の変化を確認するのにキョロキョロしながら乗っていた。所々で伐採があって景色の変わっているところもある。



Drei Annen Hohene にて下車。Wernigerode の方向へ線路沿いの道を歩く。踏切の手前で舗装路から林道の様な道に入り、ひたすら歩く。歩きながら写真のポイントを探す私が

考えていた大きなカーブがなかなか解らない。それらしきところがあったが木が伸びていて、違っているのに思われさらにポイントを探して進む。



ほぼ1時間歩いてなんとかなるかなと思えるポイントについた。誰かが使ったような跡が残っていた。そこで20分ほど待って2台のカメラとムービーで1本目（Wernigerode 8：55発）を撮影。引き返し、先ほど気になったカーブの場所にて45分後の次の列車（Wernigerode 9：40発）を撮影する。

さらに引き返し伐採がすんで開けた場所があり、線路を横切ったところで次の列車の撮影（Wernigerode 10：25発）の準備をした。この場所からはるか遠くに線路が見え、そこを通過する列車が小さく確認できやがてやってきた列車を撮影。待っている間にキョロキョロして谷間を渡った向こう側の尾根からの見

通しが良いのに気がついた。道路もありそうだなーと思って見ているとサイクリストが通り過ぎるのが見えた。

移動のために荷物を片付け始めるとはるか遠くでドラフトの音が聞こえた。臨時のオールドカーの列車 (Wernigwrode 10 ; 47 発) が来るのだ！慌てて準備を整えてゆっくり間に合って撮影後に撤収し歩き始める。

しばらく戻ると谷間に幹線道路が通って居るのが見える。先ほどの谷向こうの尾根が遠いことが解ったので、道もよくわからないし、行くかやめるか迷いながら歩く。幹線道路まで戻って来て先を見るとすでに 12000 歩も歩いて疲れているし、直線道路が数百 m 見える。あの先がどうなっているのか解らないで迷うも時間が早いこともあり意を決して歩き始める。車が飛ばして走る歩道のない道はちょっと怖い。

直線道路が終わって直ぐに横道があったので入り込むと幸いに地図の看板が立っていた。なんとか道が判明したので直ぐ先の林道の様な道に入り直して進む。15 分ほどで目的の場所に到着。行ったり来たりして崖をよじ登った場所に決めるが何とありの巣を踏んじやあってありが足にまとわりついてビックリ、慌てて振り払う (過去に同様のことで足をかまれてしまいひどい目に遭った)。



ちょっと離れてカメラの準備をして列車を待つがこの間に非常食のサンドイッチを食べる、助かった。1 時間の間隔があったのでゆっくり間に合って次の列車を撮影 (Wernigrode 11 ; 55 発) し、撮影後 Drei Annen Hohene まで幹線道路の横をひたすら歩く。約 45 分、ホームにホットドッグを売っていたのでジュースと一緒に食べて昼食とする。

Brocken 山行きがやってきたので途中の景色を見るために乗車 (12 ; 48 発)。すでに 19000 歩だったが乗っているだけだから、と思った。山頂まで木の伐採が大変進んでいて見通しが良くなっていた。しかし、岩がゴロゴロで切り株だらけでなんとなく撮影する気にはならない。残っている立木も立ち枯れしておりどうなっているのだろうか？酸性雨の影響なのだろうか？

頂上を往復したが線路沿いの登山道を歩く人たちの多いこと！頂上の写真をとって直ぐに列車へ戻ると、頂上までの登りの列車はガラガラだったが山頂駅からの下り列車は満員 (13 ; 59 発) 利用客が多いのだ。Drei Annen Hohene (15 ; 50 発) で乗り換えてそのまま Wernigerode (16 ; 33 着) へ下る乗客は多くて満員で結構立っている、16 時 40 分にはホテルへ。20000 歩を超えていた！疲れたので一休みでしばらく寝ていた。

洗濯とシャワーを済ませ、18 時半過ぎて夕食へ、グーグルマップで調べてドイツ料理の店に行くが例によってメニューは解らないので辞書を片手に牛のホホ肉とビールを注文。この店はペースがゆっくりで時間がかかったがまあ満足。食べ終わってマルクト広場へ歩

き、アイスクリーム屋さんに寄って帰ったら21時近かった。そのまま就寝した。22088歩なり。

7月18日（木曜日）

5時過ぎに起床。3時頃に一旦目が覚めたがまた寝てしまった。早速日記を書き、洗面をして朝食の時間を待つ。

今朝は8時55分発の列車なのでゆっくり朝食を済ませて出発。まずは Brocken 山終点まで行く。山頂で写真を撮って直ぐに下り始める。15分ほど最初の目的地、登山道との踏切地点に到着。時間待ちして撮影する（Wernigerode 9：40発）が登って来る人は多い。



撮影後に次の目的地へ向かってさらに下るが大きめの石が多数の山道で比較的歩きやすい。一部ぬかるんでいるところもあったが下りは快調に飛ばす。

次の目的地はやはり山道との踏切地点で、到着後直ぐに場所を決めて準備する。10分ほどでやってきた列車（Wernigerode 10：25発）を撮影、直ぐに下りの列車（Brochen 10：51発）の音が聞こえたのでこちらも撮影後に移動開始。すると少し移動しただけで次のポイントを見つけ、先に進むか迷ったがここで次の列車を待つ。次の列車（Drei Annen Hohne 12：00発）を撮影して Schierke 駅を目指して急いで歩くが途中で次の下り列車（Brocken 発 11：36発）に追い抜かれた。

途中伐採が進んで開けた場所があり撮影に適しているところがあった。当然伐採のあった場所はすでに若木が育ち始めている。これでは前回の記憶での撮影場所は決められないな一、と思った。

Schierke 駅の直ぐ手前で次の列車（Drei Annen Hohne 駅 12：48発）がやってきたので慌てて撮影する。Schierke 駅で帰りの列車を待つあいだ一休みする。

14:39 発に乗るが乗客は多い、Drei Annen Hohne で乗り換え、Brocken 山行き列車の発車と Eislefelder Tal からの列車の到着を撮影して昨日と同じ 15:50 発で Wernigerode へ向かうが満員である。夏休みで子供連れをはじめお年寄りもとても多い。

本日の徒歩 16000 歩だったが連日なのでくたびれたー！！洗濯してシャワーを浴びて一休み。18 時半過ぎてホテルのレストランに行ったら満員で断られた！

疲れているので歩きたくなかったが近くのレストランへ夕食を食べに行く。美味しかった！ビール 300ml を二杯飲んでホテルに戻り直ぐに就寝。外は当然明るい。16931 歩なり。

7 月 19 日（金曜日）

4 時前に起床、雨が降っている！本日は途中で Stassfurt の鉄道博物館見学をの移動日である。雨の中を歩いて鉄道博物館訪問は無理だなー、と次善の策も考える。Harz 鉄道は乗り放題のチケットを買っているのでもうまく利用したが同じところを往復してしまうが無いし。



考えながら日記を書くがやがて雨は止んできたが雲は黒っぽいのが流れている。朝食後にしばし街中を散歩する。どこを歩いても綺麗ではあるが同じような木組みの見える壁の建物ばかりはある。ホテルに戻り荷物をまとめてチェックアウト。とりあえず予定通りの移動とする。

まずは HSB の Wernigerode 駅にて蒸気機関車を撮影して DB の駅へ。10 時 40 分

発で出発。順調に乗り換え目的の Stassfurt の鉄道博物館へは一つ手前の駅が近いのが解り下車。グーグル地図にて 17 分とでた。両脇にはサクランボやブラムになった並木道が続く歩道の無い田舎道を歩く。

やっとたどり着くとなんと閉まっている！！開場日は年に 5 月と 9 月の 2 回だけなのだった。そこまでは調べてはなかった！

やむを得ないので諦めて Stassfurt 駅を目指す。Google 地図では 25 分だが歩き始めて間もなく雨が降り出した。結構続くので木の下でリュックとトランクにカバーを掛けると直ぐに止んできた。結構遠く、足裏が擦れたー！との感覚がでてきた。豆かな？

Stassfurt 駅に着くと駅前にはバス停があるだけで食事の店も無い！中心街が駅前から離れている街と思われた。Magdeburg まで移動して昼食を食べることにする。

Magdeburg の駅前も意外と閑散としていて一件のビルに商店街があったが食事の出来る店はサンドイッチとピザの店だけ。諦めてピザの店に入るがひどかった。

ビールを頼むとタンクが空になったようでグラスが中途まで注いだ状態で置いてあるの

が見える。しばらく待たされるが忘れていたのかと思ったがそうでも無いようだった。やがて他の店員がビールのタンクを持ってきた。そうしてつなぎ替えたタンクから出た最初の分を紙コップに取って先に入れていたグラスに注いで私のところに持ってきた！あり得ないと思うけどなー？

15:00発のLeipzig行きのIC（特急）に乗るがWebサイトで購入していた乗車券は15:57発のICを予約していた。これまでは時間が違った列車でも何も言われていなかったのだから安心して乗ったが、検札に来た車掌がこれは列車の違うチケットだ！と言っている（ようだ）。解らない、という諦めてOKと言ってくれた。時間帯によって同じ区間でも料金が異なることがあるのは知っていたが特急料金に差があるのだろうか？日本とのシステムの違いだ。

明日もICEに乗るが予約以外の列車に乗って検札に合えば心配だが、予約の変更をウェブサイトでする能力もないで、予定通りの列車に乗らざるを得ないのか（余裕を見て遅めの列車を予約）。

Leipzigでドレスデン行きの快速（電車）に乗り換えるが満員、この電車の2等車両は一部2+3席となっている。しかも通路側には肘掛けがしっかり設置してあるので体型の大きな乗客が居ればとても3人掛けは出来ない。

Oschatzにて下車、明日乗車する狭軌SLの駅が隣接している。駅前で止まっているバスの路線番号が調べた時刻表の番号を異なるので何度もバスの時刻表を見ていると男性が声をかけてくれたがもちろんドイツ語。運転手さんも来て、このバスで良いよ、ということに乗車。1.8ユーロでOschatzバスセンターへ。

Google地図を参考にホテルに無事に到着。チェックインしたが部屋のドアの鍵の開け方が少々難解でよくわからないでガチャガチャいじっていたら開いた。例によってだが洗濯はしなくてシャワーを浴び、やはり出来ていた足裏の豆（水疱）の処置をして夕食へ。ホテルのレストランでドイツ名物のシュニツラを食べ、食後にデザートを初めて食べたがまあ満足。

食後に街をチョット散歩するが綺麗な街だ。部屋に戻るがこの時も要領が解らず鍵を開けるのに苦労する。直ぐに就寝するが窓のカーテンが薄く明るいこと。17469歩なり。

7月20日（土曜日）

4時前に起床。ゆっくり日記を書く。日記を書き終え、荷物も詰めて6時半過ぎたので街の散歩へ。ホテルの周囲を歩き、窓から見えた公園を探すが無い？Google地図の航空写真で確認するとなんて考えていた角度違っていた。バス停から歩いてきた際に見かけた公園だったのだ。改めて建物を確認すると私の開けてきた窓が解った。90度も角度の検討が違っていた！

朝食後荷物を持って早々にチェックアウトする。途中パン屋さんで非常食を購入し、バスターミナルへ。待つことしばし、時間通りのMugeln行きの乗車、3.6ユーロなり。曲

がりくねった田舎町を抜け、20分少々で Mugeln の鉄道駅前に列車の発車時刻より1時間以上前に到着。車が無いし、土曜日なのでバスの便も少ないし・・・、やむを得ない。

鉄道駅舎は工事中で切符売り場も待合所も無い！しょうが無いのでプラットフォームに荷物を置いてうろつくと、奥の方に蒸気機関車を発見、早速向かうが途中で職員？に出会ったので写真OK？と尋ね許可をもらって入って行く。機関車はマレー型で小さめである。これまでのドイツでのマレー型はいずれも通常のE型の蒸気機関車より一回り小さいが牽引力の違いなのだろうか？

プラットフォームに戻り待っていると男性が一人やってきて倉庫とおぼしき建物を開けたので中をのぞくと明らかに倉庫だが片隅に記念はがきや鉄道の本などを売っているコーナーが出来ていた、切符売り場では無かった。

やがて人が少ないながらも集まりだし、車掌？と思える人が留置してある車両を見て回りだしたのでチケットは？と尋ねると車内でとのことだった。荷物を車内において、機関車の入れ替えを見て発車時間を待つ。



乗客は全部で20名もいただろうか？時刻通りに逆行で発車。車内改札でターゲスチケット（一日券）を19ユーロにて購入するがこれで安心して乗り降りできる。列車は都合3往復でしかも Mugeln 側は行き先が2カ所で異なっているし、最後は Oschatz 駅下車となる。乗ったままでは正面の写真は撮れないので、途中下車し、駅で Oschatz からの順行

の列車の正面をとれる場所を探しながら乗っていた。



結局 Oschatz Sudbahnhof にて荷物を抱えて（預かってくれ無いかなー？）下車。約1時間後の折り返し列車を待ち、正面からの列車の進入を撮影し、荷物を抱えて乗車。途中 Mugeln で水補給をして Glossen へ。ここは砂か砂利の採取場だったらしく広軌の貨物車両を載せた狭軌の車両に積み込む設備が残っていた。折り返しで機関車をつなぎ替えたら直ぐに発車。

Mugeln でちょっと長めの停車、石炭の補給後 Oschatz へ向かう。今度は Naudorf にて下車、1時間半ほど待って戻ってくる列車を撮影するが小麦畑の向こうをやってくる列車が狙えるつもりかすかに頭の部分が見えただけ失敗！！周りにはなーんにも無いので待っている間に非常食に購入したパンをいただく。

今度は Kemmlitz まで行く、先ほどと違い上り勾配でドラフトをあげて行くので撮影には

最適と思うが車が無いととても無理である。途中広い菜の花畑があったが花の時期に撮影したら綺麗だろうな！ここも終点では直ぐに折り返して Mugeln へ。途中一旦止まってしばし動かず予定時刻より遅れた。

Mugeln 到着後機関車がディーゼル機関車に交換になった。やはり調子が悪かったのだろうか、やっとやってきた、しかも泊まりがけの地での最後の行程での機関車交換ですんで良かった（過去に完全な運行停止の経験あり）。それに天候に恵まれて感謝である。

Oschatz 駅にて DB に乗り換え Leipzig へ。切符売り場に並び ICE のチケットの変更を尋ねたら安売りチケットで変更は出来ない！とのこと。駅でビールを飲んで魚のシュニッツェルで食事を済ませ、目についたソフトクリームを食べて列車を待つ。

予定通りの ICE でベルリンへ、車両が初代の 14 両の ICE で内部のサービス設備が古く、USB 給電はもちろん 220V の給電も無いのだった。到着後ホテルを探すが直ぐ目の前にあった。足裏の豆の後が痛い。

極めてビジネスライクな応対を受け部屋へ。シャワーを浴びて、地元の雨の様子を確認後直ぐに寝る。10281 歩なり。以外と歩いていた。

7月20日（日曜日）

3時20分頃起床。地元は土砂降りの雨でゴルフ会が中止とのメールが来ている。バケツをひっくり返したような雨だったとこと。河川敷カメラで確認すると氾濫の心配はなさそうである。日記を書いて食事時間を待つが荷物も上手に詰めなくてはならない。

一区切りついたので散歩に出る。朝は涼しい、ベルリン中央駅の南側は初めてなので少し歩くと川があった。南側に遊覧船の発着所があると何かで読んだことがあったが見たところでは解らなかった。戻って国内線で預ける荷物の制限を考えて預ける荷物と機内持ち込みの荷物をあらかじめ分けて6時半となったので朝食へ行く。今回の旅行で最も高価なホテルだがベルリンは物価が高いのだろうチョットオーバーだが最も貧相な朝食内容であり、レストランだった。立地が何せ良いので利用せざるを得ない。

食後一息ついて大まかに荷物を詰めても時間があるので市内見物へ出る。乗り物の AB ザーンの日券を購入7ユーロなりで、ベルリンでは交通機関の乗車券が共通で DB であろうがバスであろうが地下鉄であろうが同じ切符で乗車できるのだ。

S バーンのホームに上がり自動販売機でいろいろいじくってなんとか一日乗車券を購入し、間違いなく改札刻印を打刻する。Alexsandar-Plaz 駅へ向かうが、ここから100番と200番のバスが経路は異なって Zoo 駅とを結んでいる。100番は主に北寄りを200番は南寄りを走るのだが100番のコースは半分ほど歩いたことがあったので200番に乗り乗る。同じバス停が TXL（テゲール空港行き）の始発であることに気がつく。

200番のバスで主にビル街の市内観光？をして終点の Zoo 駅へ。Zoo 駅の直ぐ手前に本当に動物園（Zoo）があったが入り口にパンダの絵が描いてあったのでここにも中国から借りたパンダが居るのだろう。Zoo 駅近辺は泊まったことも有ったが動物園がこんなに近く

にあるとは知らなかった。

S バーンにてホテルへ戻る。まだ少し早いので TXL の始発場所を知ったのでホテルをチェックアウトして Alexsandar-Plaz 駅へ再度向かい始発のバス停から乗車する。途中で徐々に乗客が増え、私が乗る予定であった中央駅のバス停では積み残しが出たので始発駅から乗って正解だった。

11 時前に空港に到着するがチェックインの場所が解らない。多くの空港ではチェックインカウンターは一カ所に集まっているのだがテゲール空港は各搭乗口にチェックインカウンターがあり、おそらくその便の会社の担当者が行ったり来たりしているのだろう。

少々探したが解らないのでインフォメーションで尋ねると直ぐ近くだった。着いてみると長蛇の列が出来ているがカウンターには誰も居ず、優先搭乗口の表示も無いので行列に並ぶ。すると前の二人ずれは日本人でベルリンでの精神科の学会で来ていたとのことで、しばし旅の話になるが女性のお子さんが鉄道ファンとのことで話が盛り上がった。

チェックインが始まり、列が少しずつ前へ進むと、優先搭乗カウンターがあることが解ったので二人と別れてそちらに並ぶ。チェックインが済み搭乗券をもらって手に持つ検査場に行き搭乗券を探すとベルリンからヘルシンキ行きの搭乗券が無い！！慌ててチェックインカウンターへ戻る。不機嫌になる女性から発券してもらって無事搭乗待合室へ入り出発を待つ。

12 時過ぎていたので待合室内の売店でサンドイッチとコーヒーを購入し昼食とするがこの間に携帯電話の充電をする。定刻の 13 時 15 分にドアが閉まってついにこの旅行最後に行程となる。順調にヘルシンキ空港着。

ヘルシンキ空港は常に改装工事が行われていて、以前とは違う場所にイミグレーションが出来ていたがシステムは一緒に日本を含む数カ国のパスポートは自動認証システムが使えるので比較的スムーズに通過できる。ヘルシンキ空港からは JAL と共同運行の AY1475 便となるので機材は日本航空である。

お土産を買って一階に降りたところにある JAL 待合室へ行くがあまり待たずに搭乗開始となる。勇んで搭乗券のチェックを受けたらお土産を置き忘れていたのに気づいて直ぐに戻ろうとする係員に止められ、パスポートと搭乗券を取り上げられて取りに行かされた。ほぼ定刻にドアが閉まる。その後順調に飛行し、食事の際にワインを 2 杯も飲んで直ぐに就寝した。6145 歩なり。

7 月 22 日（月曜日）

夜中に一度目が覚めると小刻み揺れている。再び目が覚めるとやはり小刻みな揺れが続いていた。時刻を尋ねると日本時間 6 時とのことでそのまま起きておくことにして日記を書く。8 時過ぎの朝食で洋食を頼んだらアップルクレープだった。

朝食後さらに日記を書いて過ごす時間が余ったのでビデオを見ているうちに日本海上空となる。海が一瞬見えた後は成田着陸直前まで雲の上の飛行で予定より早い 9 時前に着

陸した。

成田空港でも入国審査は顔認証システムでスムーズに通過できるが入国審査の押印を希望される方が結構おられる。荷物もスムーズに出てきて無事にイミグレーションを通過した。到着が予定より早かったので Jetstar10:50 出発便に間に合うのでそのまま第3ターミナルへ向かうが500mと書いてあるもののその距離の長いこと。

Jetstar の持ち込み手荷物や受託手荷物のバッグのサイズや重量に制限があるのでカメラを機内預け用のトランクに移したりして重さを量って調節する。無事に手続きを終えて待合室へ行き、出発を待つ。10時30分過ぎて搭乗となり55分には移動を開始したが離陸までの時間のかかること、何と11時25分になってやっと離陸するが離陸すると直ぐに雲の上となり、福岡に着陸する直前まで雲の上だった。

荷物を受け取りゲートから出ると留守番に来てくれていた妹が待っていた。彼女は千葉へ帰るので、入れ違いに車の鍵をもらってマイカーにて自宅へ帰る。帰ったらすぐに仕事が始まっている！今夜からの時差ぼけが辛いなー！！